

壊れゆく森

自伐型林業推進協会緊急会議

2018年
6月19日(火)

[時間] 15:00~17:50 ※開場14:30
[場所] 衆議院第一議員会館1F 多目的ホール
東京都千代田区永田町2-2-1
※当日、会館ロビーにて通行証をお配りします。
[定員] 190名
[参加料] 無料
[申込み] 当会のHPの申込みフォームより、お申込ください。
<https://goo.gl/forms/OEk2e8wNVnQA68hF3>
[問合せ] 自伐型林業推進協会 事務局
TEL:03-6869-6372
mail:info@jibatsukyo.com
<http://jibatsukyo.com/>



今、全国各地の森で起きていること

壊れゆく森
憂う現行林業

防災・減災を紡ぐ
自伐型林業推進協会からの緊急提言
“真の森づくりとは”



- 内容
- 調査レポート報告 -自伐型林業は予防治山、予防砂防になる-
自伐型林業の現場と現行制度による林業の現場を取り上げ、写真や図解より解説を行います。
 - パネルトーク -みんなで考えるこれからの森づくり-
専門家、自伐林家たちをゲストに迎え、会場も交えたディスカッションを行います。
 - ゲスト(予定) ※敬称略
泉英二(愛媛大学名誉教授)/月尾嘉男(東京大学名誉教授)/野村正夫(吉野林業)/
橋本光治(自伐林家)/松田裕之(横浜国立大学教授)/山口祐助(自伐林家)/他

趣旨 我が国は大型機械導入による効率化と短伐期の皆伐サイクルでの施業を推進してきました。九州北部豪雨、岩泉台風水害では、幅広の林道や皆伐跡地において、表層崩壊が多数見られました。一方、紀伊半島豪雨でも広範囲で被害が発生しましたが、自伐林家の森はほとんど被害が見られませんでした。災害発生と林業手法の因果関係を踏まえ、自伐型林業の施業が予防砂防や予防治山になる手法として開発・普及できれば、土砂災害等の軽減にも寄与します。当会では、四国、紀伊半島等の既存の自伐林家の施業手法から災害軽減の要因の調査・取材を開始、その中間報告をします。本緊急会議では、現行林業と比較しながら、耐防災性向上に資する地域毎の自伐型林業の手法や、自伐型林業を推進する自治体や地域推進組織の状況など、普及推進事業の現況をお伝えしながら、みなさんといっしょに、これからの森づくり、林業のあり方を考えます。